

平成 28 年 11 月 18 日

一級自動車整備科 12 期 田尻 昌也

クラシック・カー・ラリー Rally Nippon in Taiwan 2016 に参加して

私は今回、春の RALLY YOKOHAMA に続き、秋の RALLY NIPPON in 台湾にスタッフとして参加させて頂きました。 RALLY NIPPON とはクラシック・カーをアイ・キャッチャーに様々な土地の歴史・文化を再発見・再認識し、世界に発信することが目的のクラシック・カー・ラリーです。

私たちの RALLY NIPPON での主な活動内容は、競技開始前日の荷物の分配、スタート日に車両の車検、会場内施設の案内、スタートした車両の誘導、タイム計測区間「PC」の設置・運営・誘導・片付け、スタンプポイントの運営などです。

RALLY NIPPON では沢山のエントラントの方とお話する機会が多く有り、その時には、失礼の無い話し方や立ち振る舞いが必要になります。

例えば、クラシックカーには様々な大きさの車両が存在します。それらの車両に合わせた車両誘導のやり方や、車両によった運転席の高さに合わせた話す姿勢など、注意する点が沢山あります。

これらのことは、私たちの職務にも大きく関係すると思います。大きさの異なる車両の誘導の仕方やお客様への話し方など、RALLY NIPPON のスタッフでは、日ごろ抜けてしまいがちな部分を再確認し、日々の糧にすることができます。

また、RALLY NIPPON では沢山のスタッフの方々とお話をしたり、運営を行ったりします。

私たちは基本的には関東工大チームとして動きますが、他のチームとの協力無くしてこのラリーの成功はありません。そういったときに、他のスタッフから作業の効率的なやり方や、自分では気づきにくい悪い癖や立ち振る舞いなどを教えてもらい、ラリーの運営はもとより、自身の成長に繋がると思います。

また、他のスタッフの方から、自分の動きを褒めて頂いたり、エントラントの方々からお礼を言われたりすると、とても嬉しい気持ちになりますし、更に頑張る活力になります。私たちの RALLY NIPPON での活動はとても大変ですが、自己の成長という点では大いに意味のある活動と感じ、これからも続けていきたいと思っています。

RALLY NIPPON では沢山のクラシックカーが「走る」という大きな魅力があります。年式は様々で 1925 年から 1973 年と約 50 年と幅広く出場しており、博物館とは違い、これらの車両は全て走ります。

さらに、様々な名所を巡るので、美しい風景とクラシックカーを一度に見ることができる、数少ないイベントの一つです。

私は春に、初めて RALLY NIPPON の活動に参加しましたが、感動の一言しか出てこなくなりましたし、RALLY NIPPON ではギャラリーの方々も、とても楽しそうに競技車両を見えています。

そういった部分も RALLY NIPPON の魅力だと、私は思います。